

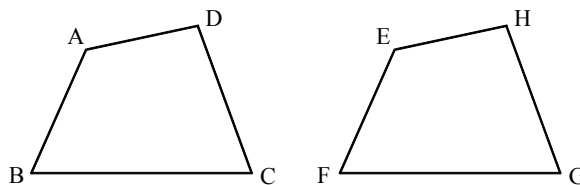
【要点】③合同な図形 (1)

(1) 合同な図形 … 形も大きさも全く同じ図形をいう。

性質	合同な図形では、対応する線分の長さや、対応する角の大きさは等しい。
記号	$\equiv$ を用いて表す。

[例] 右図で、四角形 ABCD と四角形 EFGH が合同のとき、

- ①  $\angle B$  に対応する角は、  
→  $\angle F$
- ②  $\angle DCB$  に対応する角は、  
→  $\angle HGF$  ( $\angle FGH$  としないこと！)
- ③ 辺 CB に対応する辺は、  
→ 辺 GF (辺 FG としないこと！)

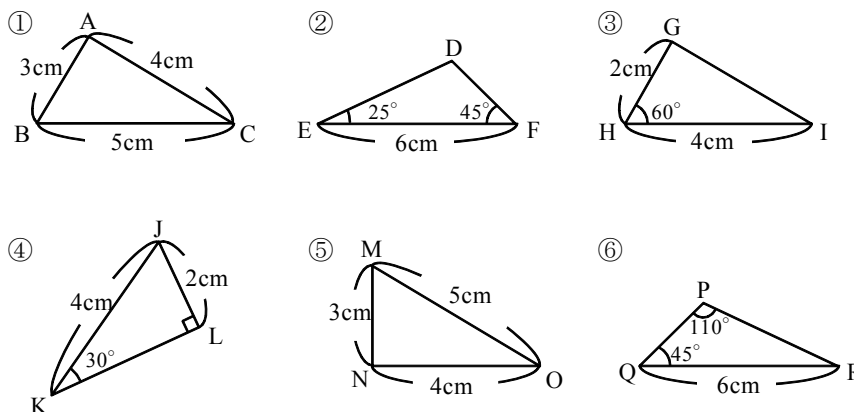


(2) 三角形の合同条件

三角形の合同条件には次の3つがある。

- ① 3組の辺がそれぞれ等しい (3辺相等)
- ② 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい (2辺夾角相等)
- ③ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい (2角夾辺相等)

[例] 下の図で、合同な三角形の組を見つけ、記号を使って表せ。  
また、そのときに用いた合同条件をいえ。



[解]  $\triangle ABC \equiv \triangle NMO$  (3組の辺がそれぞれ等しい)

$\triangle DEF \equiv \triangle PRQ$  (1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい)

$\triangle GHI \equiv \triangle LJK$  (2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい)

※ $\triangle PRQ$  は、 $\angle R = 180 - (110 + 45) = 25^\circ$ 、 $\triangle LJK$  は、 $\angle J = 180 - (90 + 30) = 60^\circ$  となる。